

税制調査会会長  
中里 実 様

税制調査会特別委員 新浪 剛史

### 意見書

税制調査会を所用により欠席しますので、書面にて下記の通り意見を述べます。

#### 記

経済社会の構造が大きく変化する中、現在の税制や社会保障等は、社会の変化に追いついていない側面があり、大きな構造改革を進めていく必要がある。デジタルエコノミー等が興隆している社会において、資産・所得は年功序列的なものから年齢とは関わらないものへと変遷してきており、若い世代において多くの資産・所得を得ている方々も増えてきている。また、高齢世代でも多くの資産・所得を得ている方々もいる。

現行の所得税は、給与所得控除や公的年金等控除により、様々な収入の中でも給与と年金のみに特別の優遇を認める仕組みとなっているが、働き方や収入の稼得方法が多様化してきている現在、こうした仕組みは社会に合っていない。

また、所得税は「応能負担」が原則であるが、給与所得控除や公的年金等控除の手厚さもあいまって、負担能力に応じた仕組みになっていない。若年層や子育て層がより生き生きと働くことができるよう、どのような働き方によって収入を得たかではなく、どの程度の負担能力があるかに着目した仕組みとすべく、見直しを行っていくべきである。

持続的な経済成長のため、多様な働き方を後押しする観点から、特定の者のみに適用される給与所得控除や公的年金等控除を縮減し、様々な形で働く人にあまねく適用される基礎控除を拡充する、所得税の構造改革が必要である。

以上